

がくどうほいくふなばし

No. 5 市連協だより
船橋市学童保育連絡協議会
(Tel/Fax) 047-433-9266

2001.11.17 発行
(住所) 船橋市西船2-2-21
(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

「保育・学童保育改善の全国署名」

にご協力をお願いします

今年「全国署名」に
しぼって取り組みます

今、船橋の学童保育・放課後
ルームでは、予算が少ないた
めに、設備が不十分だったり、
入所児童数に対して施設が狭
い、指導員の給料が少ないた
め、安定して長期的に働くこと
が困難な面がある、など改善が
必要な点があります。そのた
め、市連協では市への要望書
を出し、懇談会の場で実情を訴え
てきました。

しかし国の制度を充実させ、
予算を増やさない限り、大きく
改善することがむずかしい面
があります。

そこで今年、市への署名は
行わず、全国署名に集中して取
り組みます。

国に子育て予算の大幅増
額を求めよう

国は、「構造改革」の名のもと
に、福祉・教育関係の予算も削
減してきています。学童保育へ
の需要が高まる中、船橋市だけ
の単独予算では不十分であり、
国が予算を大幅に増やすことが
必要です。

国の最低基準を明確にし
て、財政措置を

学童保育は法制化されました
が、部屋の広さや指導員の身
分・給料など、学童保育の質を
決める事項について、国の基準
がありません。そのため、まず
そこを明確にさせることが大変
重要です。

今後の日程

- 11月23日(休)午後1時～
署名の統一行動 <JR船橋駅北口>
- 12月21日(金)市連協定例会
- 2月 3日(日)
輝け船橋の子どもたち
(学童保育関係の分科会あり)

署名の集約日

12月21日の定例会

学童保育全国研究集会在静岡で開催される

11月3日、4日に学童保育全国研究集会在静岡市で開催されました。この集会上には、全国から3,800人の参加があり、千葉県からは140人、船橋市から15人が参加しました。3人の参加者を掲載します。また藤代市長からメッセージをいただきましたので、紹介します。ありがとうございました。

「学童保育をよくしよう」という姿に感銘

「全国研に初めて参加しました。日々ルームに通う子どもたちの行動だけに目をとられすぎて、子どもたちの心の奥にあるものを感じてあげられていない自分に反省させられる2日間でした。と同時に、全国で多くの人々が、いろんな環境におかれながら、学童保育をよくしようとがんばっているという姿に感銘を受け、とても勇気付けられました。ぜひ来年も参加したいと思います。」 <指導員労組>

参加者から途切れることなく発言が飛び出す

「参加者が多いのにまずびっくり。分科会は『公設公営』に参加したのですが、次々に途切れることなく発言が飛び出し、参加者が真剣に考え運動している姿に圧倒さ

れました。保育内容をよくするために、父母と指導員と自治体が十分協議できる信頼関係をつくるのが非常に大切なことを改めて感じました。」 <父母>

参加して、「また明日からがんばろう！」と

「今年も発見の多い全国研になりました。違う土地に行くことでちょっとした旅気分も味わいつつ、研修では、いろいろな地域の人たちと交流することができました。今までやってきたことを振り返りながら、いろんな人たちと同じテーマで話し合えたことで、次はどうしていったらいいかを考えるきっかけができたことは、本当によ

かったと思います。全体会では、茂木先生のお話を聴きながら、子どもといい関係を作るといのは、やはり大人がしっかり子どもの現状を見てつき合っていかなければいけないなあということを実感。

全国研に参加して「また明日からがんばろう！」という気持ちになりました。来年もぜひ参加したい。」 <指導員労組>

船橋市長からのメッセージ

「日頃、子ども達の健やかな成長のために情熱を注がれている皆様に敬意を表します。放課後児童健全育成事業充実のために、実り多い研究集会となることを、心から期待いたします。」 船橋市長 藤代孝七